

# 令和 8 年度 学校自己評価システムシート ( 県立越生翔桜高等学校 )

目指す学校像	多様な学びで主体性や創造性を伸ばし、社会で活躍できる人材の育成を目指す学校
--------	---------------------------------------

重点目標	1 「個に応じた指導」による基礎学力の向上と主体性や創造性を育む専門教育の充実 2 生徒一人一人の個性を生かし、その可能性を最大限伸ばすキャリア教育の推進 3 他者と良好な人間関係を築く人間性と基本的なルールを尊重する社会性の育成 4 保護者や地域と連携した学びの充実と安心・安全な開かれた学校づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 名  
生徒 名  
事務局(教職員) 名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<b>【現状】</b> ・生徒の授業規律は確立されており、9割の生徒が授業内容を理解している。 ・少人数授業の利点を生かした効果的な授業が展開されており、個々の生徒に応じた補習等が行われている。 ・生徒の学習習慣や基礎学力に個人差が大きい。 ・ICT機器やタブレット端末の活用に関する校内体制づくりが整い、効果的な授業展開ができつつある。 <b>【課題】</b> ・学習が遅れがちな生徒、日本語力に課題がある生徒、特別な配慮を要する生徒などに対し、個々の状況を踏まえた教科指導を研究する必要がある。 ・成績不振者に対する学習支援や補習授業を計画的に行い、欠点を取らせない指導が今後とも必要である。 ・ICTを活用した質の高い学びを研究し、生徒の学力向上につなげる必要がある。 ・各種資格・検定の取得を推奨することで生徒の学習意欲の向上と進路実現につなげる必要がある。 ・来年度からの通級指導本格実施に伴い、指導法を研究を進める必要がある。	○効果的かつ質の高い学び  ○意欲的な学習姿勢の醸成と学習環境の整備	①一人一人の生徒の状況に応じた教科指導の研究。 ②課題や補習の効果的な実施。 ③ICT機器を活用した効果的な学習指導の研究。 ④生徒の学習習慣の定着促進。 ⑤通級指導の研修及び指導法の研究。	①②授業内容が理解でき、基礎学力が定着した生徒が増えたか。 ①②個々の生徒に応じた学習指導ができたか。 ③ICT機器の活用機会が増えたか。 ④生徒の学習習慣が定着したか。 ⑤来年度の本格実施に向けて準備が整ったか。		
2	<b>【現状】</b> ・個々の生徒の状況を踏まえた進路指導を展開しているが、自己理解が十分でなく将来の自己像を描けていない生徒もいる。 <b>【課題】</b> ・生徒が自己理解を深める取組の充実を図る必要がある。 ・3年間を見通した進路指導の充実を図る必要がある。 ・家庭との連携をすすめることで、生徒のよりよい進路実現を図る必要がある。	○家庭と連携した進路意識の向上と進路実現	①進路行事を計画的・組織的に行うことで、生徒に自己理解に深めさせる。 ②面談等の実施で、生徒が主体的に進路選択ができるよう支援を行う。 ③各種検査を活用し、生徒の自己理解促進へとつなげる。	①②③進路指導の実施により生徒の自己理解が深まったか。 ①②各学年の進路行事に対する満足度が向上したか。 ①③各種検査が活用できたか。また、生徒が自己理解の促進を図れたか。		
3	<b>【現状】</b> ・大多数の生徒の基本的な生活習慣は確立されているが、一部の生徒は欠席や遅刻を繰り返している。 ・良好な人間関係を築けない生徒が増えている。 ・学校生活に課題を抱えている生徒が散見される。 <b>【課題】</b> ・社会規範やマナー、基本的な生活習慣に課題がある生徒に対して適切な支援を行う必要がある。 ・良好な人間関係の構築を促す指導が必要である。 ・部活動や行事の活性化を図り、自主性や積極性を伸ばす必要がある。	○良好な人間関係の構築と基本的な生活習慣の確立	①授業規律、身だしなみの指導を学校生活のあらゆる場面で行う。 ②挨拶の励行指導を行い、良好な人間関係の構築につなげる。 ③教員間で生徒情報を共有し、共通理解に基づいた指導を行う。 ④SC・SSW等を活用した取組を行う。 ⑤部活動や行事への参加を促すとともに活性化に向けた支援を行う。	①②③基本的な生活習慣が身に着いた生徒が増えたか。 ②③積極的に挨拶し、良好な人間関係を構築する生徒が増えたか。 ③インターネットやSNSの使用について家庭の協力を得ながら指導できたか。 ④SC、SSW等の適切な活用ができたか。 ③部活動や行事に参加する生徒が増えたか。 また、活発に活動できたか。		
4	<b>【現状】</b> ・生徒作品の展示を地域施設や近隣中学校で行い、本校教育活動の広報を行っている。 ・地域の各種行事に生徒が参加するなど地域に根差した活動を行っている。 ・PTAと適宜情報交換を行い、学校運営に生かしている。 ・生徒募集は教員の負担軽減を図りながら工夫して開催しているが、募集定員確保は厳しい状況が続いている。 <b>【課題】</b> ・学校HP等を充実させ、本校の特色や教育活動の様子を多くの人に知ってもらう必要がある。 ・学校説明会の充実など生徒募集活動の改善を図り、定員確保につなげる必要がある。 ・高大連携を進め、生徒の学びの充実を図る必要がある。	○地域と連携した教育活動と積極的な情報発信  ○募集定員の確保	①学校HP等での情報発信回数を昨年度以上にする。 ②学校行事への関心を高めるため、保護者及び地域の方々などへの情報発信を充実させる。 ③生徒・保護者が参加できる地域行事やボランティア活動の情報を周知する。 ④高大連携を進め、生徒の視野を広げる。	①HP等での情報発信回数が昨年度以上行えたか。また、アクセス数が増えたか。 ②③保護者や地域から理解と協力を得ることができたか。 ③ボランティア活動へ参加する生徒が増えたか。 ④高大連携が実施できたか。また、生徒の視野が広がったか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	